

早稲田大学 鈴木克彦研究室

2008 年度卒業生 駒場優太

■活動内容

- ・オンデマンド授業
- ・ディスカッション
- ・発表
- ・卒業研究

予防医学ゼミの特徴はゼミの時間の半分はオンデマンド授業だということです。ゼミの時間までに各自毎週オンデマンド授業を受講します。内容は免疫学、生活習慣病をはじめ、実際の高齢者の体力測定や健康診断、診療の風景、特別講師の講義などで予防医学に関係する日常生活に役立つ知識を得ることができます。週に1度のゼミの時間にはオンデマンド授業を受講して生じた疑問を持ち寄り、先生や仲間とディスカッションをして理解を深めます。事前に準備ができ、聞くだけでなく意見を口に出して言うことができるので理解が一層深まります。先生は医師免許をお持ちで病棟の経験もおありなので、現場のリアルなお話を聞くこともできます。

また、予防医学ゼミでは年間3回程度自分が興味を持った事柄について調べ、パワーポイントや資料を作成し発表を行います。4年生になると卒業研究の題目発表、中間発表、最終発表が必須なので3年生のうちに発表に慣れておくことが重要です。

次に、予防医学ゼミは社会人の方の職種が多岐に渡るということも挙げることができます。現役の消防士、看護師、鍼灸師などです。去年は消防士の方のご指導により救急救命講習を行い消防署長からの認定を受けることができました。

最後に卒業研究ですが、私は「好中球機能測定による植物抽出成分の抗酸化作用の評価」と題して研究を行いました。この研究室では好中球（白血球の一種）の機能を従来とは異なる新しい方法で測定し、様々な物質の作用を評価することができます。

■主なイベント

- ・懇親会（新学期、4月）
- ・バーベキュー大会（卒論中間発表後、7月）
- ・打ち上げ（卒業研究発表後、1月）
- ・謝恩会（卒業式後、3月）

第3期ゼミ生は上のようなイベントで親睦を深め楽しむことができました。少数制のゼミのため、率先して提案し企画すれば採用され実現する可能性が高いです。合宿や運動系の活動ができなかったのが悔やまれましたが、これからこのゼミで活動する皆さんはぜひいろいろな企画で盛り上がってください。

■就職活動・進路

第3期のゼミ生は4人中3人が大学院へ進学し、私だけが就職活動を経験し一般企業へ就職することになりました。一般企業への就職を希望する方たちのためにも、ここに私の就職活動開始から卒業までの道のりを記しておきます。

就職活動	卒業研究
3年時 8月 合同会社説明会初参加 S P I (Synthetic Personality Inventory) ・一般常識対策開始	
10月 企業へのプレエントリー開始	
11月 合同会社説明会	
12月 合同会社説明会 個別会社セミナーに初参加	
1月 個別会社セミナー ※各社セミナー受付激化	冬休みの課題として、卒論で取り組んでみたい内容を調べ、論文を読んでまとめ発表
2月 個別会社セミナー (週1以上) 初面接	取り組んでみたい研究内容についてA4用紙1枚にまとめ、先生に相談
3月 個別会社セミナー (週3ペース) 面接 (7社) 初めて内定をいただく 2社目の内定をいただく	
4年生 4月 職種、業種を絞り始める	ゼミで発表したり研究の準備・打ち合わせを開始

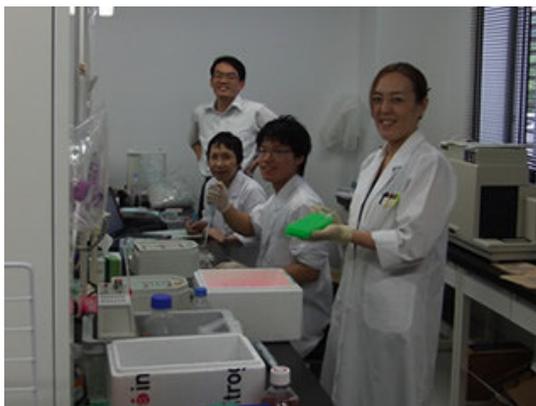
面接（2社）	
5月 3社目の内定をいただく 個別会社セミナー（2社） 1ヶ月間検討し、就職先決定	卒業研究計画書の提出・発表 実験を開始する
6月 内定者セミナー	実験（週1）
7月	中旬からほぼ毎日実験を進める 卒論中間発表（進捗状況報告）
8月	残りの実験を実施しデータを取り終える データ整理、統計処理
9月～2009年1月	文献検索、整理 執筆、完成 卒論発表会

就職活動に関しては取り組み始めた時期は早くもなく遅くもなくといったところだと思います。最初は合同会社説明会で少しでも多くの会社、特に自分が興味がないと思っている業種の会社までしっかりと見ておくことが重要です。少しでも興味を持った会社にはエントリーして面接を受けてみる。自己紹介文を書くだけでも自分を見つめ直す良いきっかけとなり、自分の推すべき所が見えてきたりもします。また、面接では具体的にハキハキと話すことが求められるように思います。例えば自分は「行動力がある」と一言言っただけでは抽象的過ぎて相手に伝わりません。どういう経験をしてどう感じたのか、苦難を乗り越えるためにどのような努力をしたのか、といった経験から生じる根拠を添えて主張することが重要です。自分のことについて正直にまっすぐ話す。もしそれをして共感してもらえなければ、その相手（会社）とのミスマッチ。それに気付くことができ良かった、そう思うことが出来れば自分にもプラスになりますし、面接を受けることも怖くなくなると思います。

私が就職を決めた会社は内定までに7回もの試験がありました。複数回に渡って確かめ、自分のことを選んでくれた会社。全国的に有名な会社ではありませんが、営業方針だけでなく人事の方の人柄にも魅かれて入社を決めました。

私は就職活動において、知名度、収入などにとらわれず長く続けられる会社選びをすることをお勧めします。

卒業研究に関しては、ほぼ就職活動が終わったと同時に本格的に手を付け始めました。比較的ゆったりと余裕を持って進められたと思っています。4月からは卒業研究で取り組んだ内容とは全くの別世界に進みますが、全力で卒業研究に取り組んだからこそけじめをつけて次のステージに進むことができますし、春休みに卒業旅行も満喫することが出来ました。何事も早めに全力で取り組むことが重要だと考えます。



白血球機能測定の実験風景



卒業論文無事提出できました



2008年度 卒業生集合写真